

特別調査「平成25年の経営見通し」

問1 日本の景気見通し

	非常に良い	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	非常に悪い
全体		1.0	2.6	13.7	41.1	36.2	5.4
業種	製造業	1.0	2.9	16.3	40.4	37.5	1.9
	小売業	1.1	3.3	7.8	36.7	44.4	6.7
	サービス業			14.3	48.6	32.9	4.3
	建設業		1.5	16.9	40.0	33.8	7.7

問2 自社の業況見通し

	非常に良い	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	非常に悪い
全体		1.6	6.2	34.7	37.0	16.1	4.4
業種	製造業	1.9	7.7	36.5	31.7	19.2	2.9
	小売業		3.4	32.6	40.4	15.7	7.9
	サービス業	2.9	2.9	28.6	50.0	14.3	1.4
	建設業	1.5	7.7	43.1	27.7	16.9	3.1

問3 売上額対前年比伸び率

	30%以上の増加	20~29%の増加	10~19%の増加	10%未満の増加	変わらない	10%未満の減少	10~19%の減少	20~29%の減少	30%以上の減少
全体	0.8	0.5	3.9	10.1	40.9	28.5	10.9	3.1	1.3
業種	製造業	1.0	6.8	13.6	32.0	28.2	15.5	2.9	
	小売業		2.2	5.6	46.7	31.1	11.1	1.1	2.2
	サービス業		1.4	7.1	45.7	31.4	10.0	4.3	
	建設業	3.1	1.5	6.2	9.2	38.5	29.2	7.7	3.1

問4 自社の業況が上向く転換点

	すでに上向いている	6か月以内	1年後	2年後	3年後	3年超	業況改善の見通しは立たない
全体	6.3	6.8	11.7	11.2	13.0	15.4	35.7
業種	製造業	9.8	6.9	12.7	13.7	9.8	31.4
	小売業	1.1	2.2	8.9	11.1	13.3	48.9
	サービス業	4.3	5.8	13.0	8.7	11.6	43.5
	建設業	7.7	12.3	10.8	9.2	21.5	27.7

問5 経営に影響を及ぼす事象

	国内政局の混迷	消費税率の引上げ	海外経済の減速	アジア諸国との関係悪化	円高の長期継続	原材料価格・資源価格の高騰	電力供給不安の長期化	企業の海外移転による国内産業空洞化	廃業・倒産の増加	その他	
全体	44.3	73.1	7.3	7.3	14.2	30.3	7.0	11.1	21.8	2.6	
業種	製造業	46.2	55.8	12.5	10.6	19.2	34.6	8.7	17.3	17.3	1.0
	小売業	33.3	83.3	5.6	3.3	8.9	25.6	10.0	7.8	30.0	3.3
	サービス業	42.0	75.4	1.4	7.2	5.8	26.1	4.3	4.3	23.2	5.8
	建設業	53.8	83.1	4.6	4.6	18.5	35.4	7.7	7.7	18.5	

この調査についてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。

公益財団法人板橋区産業振興公社








TEL : 03 (3579) 2175 FAX : 03 (3963) 6441 HP : [http:// www.itabashi-kohsha.com/](http://www.itabashi-kohsha.com/)




板橋区の景況




これは、平成 24 年 12 月上旬に調べた区内中小企業の景気動向と、これから先の 3 ヶ月間（平成 25 年 1～3 月期）の予想をまとめたものです。




平成 24 年 10～12 月期




調査対象 製造業 104 社 小売業 91 社
サービス業 70 社 建設業 65 社
調査方法 面接聴取
調査機関 (社) 東京都信用金庫協会
分析・作成 (株) 東京商工リサーチ

							
	好調 ←			普通		→ 不調	
製造業	20以上	19～10	9～0	△1～△10	△11～△20	△21～△30	△31以下
小売業	10以上	9～0	△1～△10	△11～△20	△21～△30	△31～△40	△41以下
サービス業	15以上	14～5	4～△5	△6～△15	△16～△25	△26～△35	△36以下
建設業	20以上	19～10	9～0	△1～△10	△11～△20	△21～△30	△31以下

製 造 業	前期		業況は前期より 6.0 ポイント減の-30.7 と大幅に悪化した。売上額は-16.7 と前期並の減少が続き、収益は 5.0 ポイント減の-24.3 とやや悪化した。価格動向については、原材料価格は前期より 7.3 ポイント増の 20.9 と大幅に上昇傾向を強め、販売価格は-9.3 と前期同様の下降が続いた。資金繰りは前期より 2.4 ポイント増の-12.1 とやや厳しさが和らぎ、借入難易度は-12.9 と前期並の厳しさが続いた。
	今期		
	来期		

小 売 業	前期		業況は前期より 9.8 ポイント減の-40.4 と大幅に悪化幅が拡大した。売上額は前期より 11.4 ポイント減の-32.9、収益は 15.2 ポイント減の-35.1 とともに大きく悪化幅が拡大した。価格動向については、仕入価格は前期より 10.1 ポイント増の 11.2 と大幅に上昇幅が拡大し、販売価格は 2.6 ポイント減の-6.2 とやや下降を強めた。資金繰りは前期より 2.9 ポイント増の-23.4 とやや改善し、借入難易度は 2.9 ポイント減の-8.2 とやや窮屈感が強まった。
	今期		
	来期		

サ ー ビ ス 業	前期		業況は前期より 3.9 ポイント増の-29.3 とやや改善した。売上額は前期より 6.4 ポイント増の-18.5 と大幅に改善し、収益は 2.3 ポイント増の-21.3 と減益幅がやや縮小した。価格動向については、料金価格は前期より 2.3 ポイント増の-3.9 とやや厳しさが和らぎ、材料価格は 6.5 ポイント増の 7.0 と大幅に上昇幅が拡大した。資金繰りは前期より 4.4 ポイント減の-19.9 とやや厳しさを増し、借入難易度は-6.9 と前期並の厳しさが続いた。
	今期		
	来期		

建 設 業	前期		業況は前期より 8.0 ポイント減の-20.0 と大幅に悪化幅が拡大した。売上額は前期より 12.5 ポイント減の-8.2 と増加から減少に大きく転じ、収益も 9.9 ポイント減の-15.9 とかなり悪化した。価格動向については、請負価格は-9.2 と前期並の下降が続き、材料価格は 7.9 ポイント増の 8.8 と大きく上昇傾向を強めた。資金繰りは前期より 6.0 ポイント減の-21.2 と厳しさがかなり強まり、借入難易度は前期より 8.0 ポイント増の-6.3 と大きく窮屈感が緩和した。
	今期		
	来期		

板橋区 業種別 経営上の問題点

	製造業	小売業	サービス業	建設業
第1位	売上の停滞・減少 54.8 %	売上の停滞・減少 64.8 %	同業者間の競争の激化 50.0 %	売上の停滞・減少 46.2 %
第2位	同業者間の競争の激化 37.5 %	大型店との競争の激化 33.0 %	売上の停滞・減少 47.1 %	利幅の縮小 41.5 %
第3位	利幅の縮小 21.2 %	同業者間の競争の激化 25.3 %	利幅の縮小 20.0 %	同業者間の競争の激化 38.5 %
第4位	販売納入先からの値下げ要請 17.3 %	商店街の集客力の低下 22.0 %	人件費の増加 7.1 % 料金の値下げ要請 7.1 % 人手不足 7.1 % 材料価格の上昇 7.1 %	大手企業との競争の激化 18.5 %
第5位	大手企業との競争の激化 10.6 %	利幅の縮小 16.5 %	人件費以外の経費の増加 5.7 % 商圏人口の減少 5.7 %	人手不足 15.4 %

板橋区 業種別 重点経営施策

	製造業	小売業	サービス業	建設業
第1位	販路を広げる 70.2 %	経費を節減する 61.5 %	経費を節減する 44.3 % 販路を広げる 44.3 %	経費を節減する 64.6 %
第2位	経費を節減する 63.5 %	品揃えを改善する 33.0 %	宣伝・広告を強化する 28.6 %	販路を広げる 55.4 %
第3位	情報力を強化する 19.2 %	宣伝・広告を強化する 28.6 %	技術力を強化する 11.4 %	人材を確保する 24.6 %
第4位	新製品・技術を開発する 13.5 %	売れ筋商品を取り扱う 19.8 %	人材を確保する 8.6 % 提携先を見つける 8.6 %	情報力を強化する 23.1 %
第5位	提携先を見つける 6.7 %	商店街事業を活性化させる 18.7 %	店舗・設備を改装する 7.1 % 教育訓練を強化する 7.1 %	技術力を高める 13.8 %

東京都の景況

<製造業>

業況は前期並の悪化幅で推移している。売上額・受注残・収益はともに前期並の減少が続いている。価格面では、販売価格は前期並の下降が続き、原材料価格は上昇傾向を幾分強めた。来期の業況は、水面下ながらわずかに改善すると予想している。売上額・受注残・収益はともに減少幅・減益幅が縮小するものとみている。

<小売業>

業況は、わずかに厳しさが和らいだ。売上額・収益はともに前期並の減少が続いた。価格面では、販売価格は前期同様の低下基調で推移し、仕入価格は前期並の上昇が続いた。来期の業況は、悪化幅が縮小すると予想している。売上額・収益はともに減少幅・減益幅が縮小するものとみている。

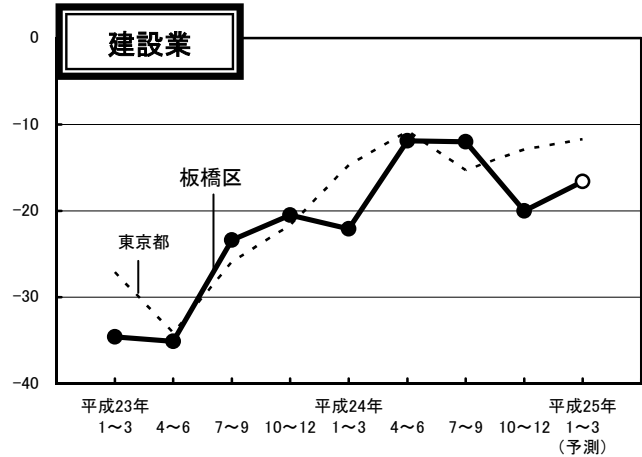
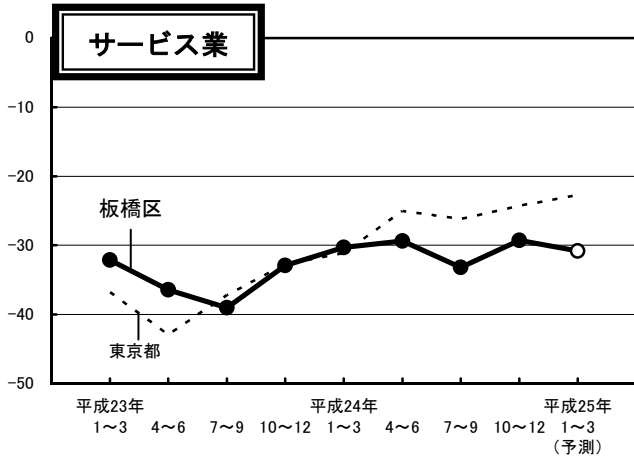
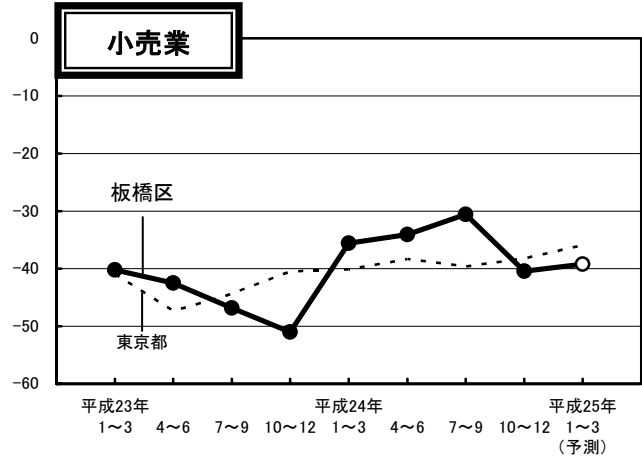
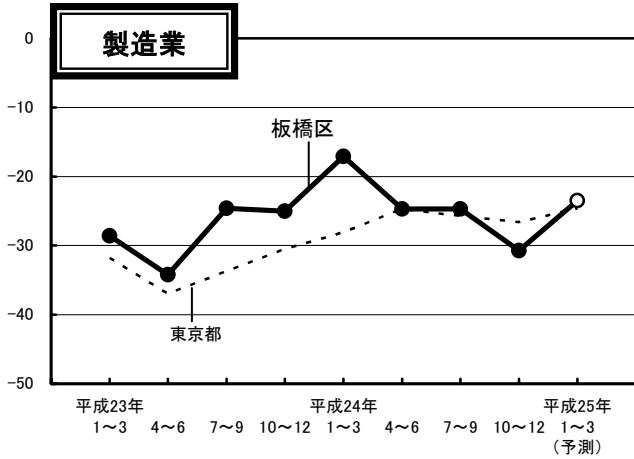
<サービス業>

業況は、多少厳しさが和らいだ。売上額・収益はともに減少幅・減益幅がやや縮小した。価格面では、料金価格は前期並の下降が続き、材料価格はやや上昇傾向を強めた。来期の業況は、今期並の厳しさが続くものと予想している。売上額・収益はともに今期同様の減少幅・減益幅で推移するとみている。

<建設業>

業況は、水面下ながら多少改善した。売上額・受注残・施工高・収益はともに前期同様の減少幅・減益幅で推移した。価格面では、請負価格は前期並の下降が続き、材料価格は大幅に上昇傾向を強めている。来期の業況は、今期同様の厳しさが続くものと予想している。売上額・受注残・施工高・収益は、今期並の悪化幅で推移するとみている。

板橋区と全都の業況の動き（実績）と来期の予測



業況と売上額、収益等の動き（実績）と来期の予測

